

下妻市定例教育委員会（令和４年１０月２５日）会議録

１．開催日時	令和４年１０月２５日（火） 午後３時００分 開会 午後４時００分 閉会
２．開催場所	下妻市役所千代川庁舎 ２階 第二会議室
３．出席委員	教 育 長            中山 均 教育長職務代理者   齊藤 修一 委 員                青木 由美 委 員                赤荻 由美 委 員                山口 政志
４．委員以外 の出席者	教育部長            倉持 総男 教育部参事        圓崎 佳江 学校教育課長      國府田 聡 生涯学習課長補佐   中島 靖夫 図書館兼公民館長   吉川 淳 学校教育課係長    北沢 祐一
５．議事録署名人	赤荻 由美委員
６．協議事項 及び研修	（１） 令和４年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価に関する報告書（令和３年度対象）について
７．議事の概要	
教育長	それでは、１０月の定例の教育委員会を始めます。本日の議事録署名人は赤荻委員さんをお願いします。
参事	では、諸般の報告を指導課からお願いします。  【指導課から報告】 ○学校行事等について ・＜２学期制＞１学期終業（１０／７）、２学期始業（１０／１１） ・各小学校では、修学旅行、宿泊学習、校外学習など実施 ・学校の文化祭や合唱コンクール等について ○市長、副市長による授業参観について（１０／１８） ・騰波ノ江小５年生の外国語科の授業の参観 ○小中合同英語フォーラムについて（１２／８ 予定）

教育長	はい、続きまして学校教育課からお願いします。
学校教育課長	<p>【学校教育課から報告】</p> <p>○学校の感染状況について</p> <p>○市立小中学校プールの共同利用について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報しもつま10月号「シリーズ学校の未来を考える」にプールの共同利用の記事を掲載（市民に周知）</li> </ul> <p>○教育委員「齊藤修一委員」の再任について</p>
教育長	続きまして、生涯学習課からお願いします。
生涯学習課補佐	<p>【生涯学習課より報告】</p> <p>○砂沼マラソンについて（11/20 予定）（中学生以下の大会に変更）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「砂沼親子マラソン大会 2022」親子マラソンをメインに実施</li> <li>・新たに年長児、年中児の1キロの親子マラソンコースを設定</li> </ul>
教育長	図書館公民館から、お願いします。
図書館兼公民館長	<p>【図書館公民館から報告】</p> <p>○令和4年度公民館まつりについて（2/18～19 予定）</p> <p>○夏休みに実施した読書でビンゴの実施結果について</p> <p>○図書館通信11月号の発行</p>
教育長	<p>はい、ありがとうございました。報告のところで、委員の皆さんからご質問等ございますか。</p> <p>ないようでしたら、次に移りたいと思います。</p> <p>4番の議案について、報告第11号令和4年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価に関する報告書(令和3年度対象)についてです。最初に、学校教育課からお願いします。</p>
学校教育課長	<p>【資料により説明】</p> <p>○下妻市教育委員会事務評価委員会について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評価委員について</li> </ul> <p>○学校教育課の事務事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活支援員配置事業について</li> <li>・幼稚園小中学校施設維持修繕事業について</li> </ul>

教育長	次に、指導課をお願いします。
参事	<p>【資料により説明】</p> <p>○指導課の事務事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上対策事業について</li> <li>・教育支援センター運営事業について</li> </ul>
教育長	続きまして、生涯学習課をお願いします。
生涯学習課補佐	<p>【資料により説明】</p> <p>○生涯学習課の事務事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成人のつどい事業について</li> <li>・ふるさと博物館運営管理事業について</li> </ul>
教育長	続きまして、図書館公民館からお願いします。
図書館兼公民館長	<p>【資料により説明】</p> <p>○図書館公民館の事務事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館教育事業について</li> <li>・映画会開催事業について</li> </ul>
教育長	はい、では学校教育課長。
学校教育課長	<p>【資料により説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合評価について</li> </ul>
教育長	各課からの評価の報告と総合評価の報告がありました。委員の皆さんから、ご質問等がありましたらお願いしたいと思います。
山口委員	各学校に行きますと入り口に体温を測るものとか、消毒とかが設置されていると思うんですが、これは終息した後も、このまま継続で設置するような感じでしょうか。
学校教育課長	今、お話いただいたような機器類につきましては、国等からの補助を受けまして、新型コロナウイルス対策ということで整備をしたものとなっております。現時点では、終息したという状態ではないので使用しておりますが、将来的にコロナがどうなるのか、完全な予測が難しいとこ

	<p>るもでございます。完全にコロナが終息して安心な状況になってくれば、場合によっては、必要がなくなるかもしれないと思いますが、当面は有効に活用させていただいております。入り口で一旦、熱等がある方にはご遠慮いただいております、更に校舎内では、自動水栓を設置したり、アルコール消毒も至るところに置いたりということで、万全なコロナ対策を学校で講じられるように、予算の方はなるべく確保できるようにしております。ここ数年は、この状況が続くのではないのかなというふうには思っておりますが、完全には予測は難しいということで、よろしくお願いします。</p>
山口委員	<p>感染対策が、すごくよく実施されているなと思いました。体調が悪い方は、学校に入れないということで。チェックがよくできていると感じました。</p>
学校教育課長	<p>ありがとうございます。</p>
齊藤委員	<p>事務事業の報告についてお聞きしたいのですが、今年度ヒアリングを行った事業以外は、次年度にやる予定でしょうか。</p>
学校教育課長	<p>この事務事業評価というのは毎年やっております。できる限り同じ事業ではなくて、前年度なり前々年度に取り上げなかったものを、なるべく取り上げて行うという形で進めておりますが、明確に順番が決まっている訳ではなく、各課の主要な事業や、対象年度の大きな事業など、を取り扱っていただいたり、しばらく評価をいただいてないものがあれば、そういうものを優先してやっていただいたりというように対応しております。</p>
齊藤委員	<p>おそらく毎年やらなきゃならないものなどもあると思います。昨年度も報告を確認させていただきましたけども、各課の事業をほぼ網羅しているのかなというふうに感じています。今の体制がしっかり取られていて効果的に行われていることが、十分伝わってきます。私もこれを見てその通りだなというふうに感じています。</p> <p>学校教育課の学校生活支援員については、これは実際に学校に勤務していた経験から、大変ありがたい事業だと思っていましたので、今後とも継続してほしいなと思っています。指導課については、英語の事業は、すごい効果を上げているので、今後お願いしたいです。スクールサポートセンターについても、やはり子どもたちも、保護者も含めて、</p>

	<p>本当に十分に活用されている事業だと思いますので、今後もぜひ続けていただければと思ってます。生涯学習課に関しましては、ふるさと博物館の方の事業ですが、子供達に歴史や文化を後世に伝えとか、そういう想いや使命を持って、これからも事業継続をしていただければと思っています。公民館図書館の方では、一番最後の方、BDS という、そういうふうな対策もされているのかと改めて確認できました。今後ともよろしくお願いいたしますと思います。以上です。</p>
赤荻委員	<p>法律にのっとって事務事業評価をすると、やはりチェックをする際に、成果を期待と照らし合わせるというところが、大事ななと思います。活動指標があって、それに対する成果指標を具体的に数字でだしているというあたりですね。PDCA を意識しないといけないかなと思います。実際に成果を意識してしまうと、期限というか、誰が何をいつまでにするのかという部分があるとは思いますが。ずっと継続されている事業は、市民にある程度、施策として評価を得ているし、理解も得ているし、支持も得ているというところかと思います。貢献度が高いとか、エフェクトがあるというところで継続しているとは思いますが、でも。こういう政策もやっぱりいつまでにやるかというのを決めておかないと、どんどんオーバープランになってしまうかなというのがあるので、期限とか、どこまでに達成するかというところも意識しないといけないかと思いました。とてもニーズが高まっているところとか、非常に先進的な取り組みであるとかということで、新しいものを取り入れてやっていこうというところ、すごくありがたいなと思いました。そこは最も評価しているところではありますが、やはり、いつまでにというところも意識していただければなと思いました。以上です。</p>
教育長	<p>今のご意見については、事業を実施するにあたって、スクラップアンドビルドをしながら、効果的な事業を実施していくということが大事ということですね。赤荻委員さんがおっしゃった、いつまでっていうのはそういうことだと思うんですね。</p>
赤荻委員	<p>ある程度、アチーブメントがあれば、もうやめてもいいだろうみたいな見方も必要かなと思います。</p>
教育長	<p>貴重なご意見だと思いますが、そこはそれぞれの課で何か意識されるようなことがあったら。</p>

学校教育課長	<p>この教育委員会の点検評価は、法の規定に基づいて、外部の意見、評価委員の意見を取り入れながら点検評価を行うという形でやっています。事業の計画につきましては、基本的には市の総合計画がありまして、これは大きく10年、5年単位、途中で1回5年目で見直すような形をとっています。それをサイクルとして、目標だてて成果を上げていくという形でやらせていただいています。確かに委員、ご指摘いただいたように、作ったり始まったりするのは、すごく皆さんから賛同を得られることも多いんですけど、やはり、壊すとか終了するというのが、非常に難しいなと感じています。今、例えば学校なども、適正規模適正配置が大きなテーマになっていたりしますが、作ることと壊すこと、すごく時期が難しいなと思っています。今後も、それは意識しながら事業は進めていきたいと思っています。</p>
教育長	<p>では、よろしいですか。この報告第11号のご承認いただいてよろしいですか。</p> <p>それでは、その他に入りたいと思います。</p> <p>何かご質問等ございましたらお願いします。</p>
山口委員	<p>学校行事が戻りつつある中ですが、体育祭などは、短縮とか学年ごとというふうになったと思うんですが、今後それは方向性としては、前のように戻るんですか。</p>
参事	<p>運動会等の実施方法なのですが、おそらくコロナの状況が変わってくれば、それに応じた検討というのはなされるかと思っています。ただ、その中で運動会をバラバラに行うことが良いとか悪いとかということは抜きにした上で、コロナ禍で、今までやったことのないような実施方法を実施してきたというのは、働き方改革であつたりとか、学校の色々なものを改革する上で、新たなチャレンジが出来たものかなということも考えております。ですので、さまざまな方法で実施したものが、それがいいものなのかどうかというのは、行事を行うごとに検証はしてるかとは思いますが、そういった検証を基に、次年度はどんなふうに行っていくかというのは、年ごとの次の年に向けた検討を行いながら考えていくことになるかと思っています。地域との関わりについては、これまで出入りしていただいていた地域の方、あるいはおじいちゃん、おばあちゃんに関わっていただいていた学校の行事などもありましたが、来ていただくことで、そういった方にも、もし感染を広げてしまったりしてはいけないというような、学校から広げてしまっ</p>

	<p>い、また入って来てくださる方も、学校に行っているのかなという、ご遠慮も実際あったようですので、これも学校としては関わりたい、また地域の協力を得ながら実施していきたいものがたくさんあると思いますので、これもまた改めて、一つ一つ相談しながら進めていくものになるのかなと思っています。外での活動は大丈夫だよということで、外で行うイベントなども、少しずつ開始しているところだと思っています。状況をみながら、必要なものにおいては戻ってくるのかなと考えております。以上です。</p>
山口委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>もう1点、幼稚園が閉園になったりして少なくなったので、例えば、今ある園に人数は増えているんですか。それとも特に変わらないですか。</p>
学校教育課長	<p>幼稚園につきましては、段階的に、廃止を進めている中で、ちよかわと上妻と2園、継続するという事で進めています。が、その2園が増えているかといいますと、どちらかといいますと、減少傾向にあるかなと思います。要因の1つとしては、今までと違って、保育園と幼稚園の費用の相違というのが、以前はあったと思うんですが、だいぶこれがなくなってきたところと、あとは基本的には、保育施設と教育機関の違いで、市立幼稚園は例えば、土曜日は預からなかったりというところもありますので、保育を主として考える方は、今、共働き等が増えていますので保育園を利用される方が増えているのかなとも思います。保育園の方は、今、例えば新設されたり規模が拡大されたりということが至るところで進んでいるような状況かなと思います。ただ、やはり幼稚園は幼稚園のいいところがあるので、そういった学習の場、単なる保育の場ではなくて学校教育の前段の学習の場として、求める人というのはいるのかなとは思いますが。ただ、今後、増えるかという点、そこはあまり考えにくいかなというふうには見込んでおります。</p>
山口委員	<p>そうすると、もしかしたら、子供が更に減少してきたら、全部なくなるかもしれないということもあるんですか。</p>
学校教育課長	<p>市立幼稚園のことですか。</p> <p>下妻には市立の保育園や幼稚園がある一方で、私立の保育園や幼稚園もあります。全体的なそのキャパは子ども子育て会議で調整をしまして設定されていくと思うので、これ以上、利用者が増えない中で、空きが多いような状況になってくれば、検討されてくるのかなと思います。</p>

	<p>が、ただいづれにしましても、そういった会議を経て決められていくものなので、今時点でどうなるかはわからない状況です。</p>
山口委員	<p>ありがとうございます。</p>
教育長	<p>その他、いかがでしょうか。</p>
赤荻委員	<p>先日、砂沼フェスティバルに行きまして、下妻中学校と千代川中学校の吹奏楽の演奏を拝見しました。皆さん、本当に楽しげに演奏されていて、非常にいい時間だったなと拝見させていただきました。</p> <p>それから、先ほどお話があった学校と地域の繋がりというところで、市民センターの先生とお話する機会がありましたが、コロナの関係で、歩け歩けの大会やウォークラリーみたいなイベントは開催が難しいということです。ただ、屋外だったら、ある程度距離を取って子供と地域の人が触れ合うということ、違う方法で考えてみることも必要ということでした。やり方を変えて続けていこう、見方を変えてやっていこうということ、教えていただきました。以上です。</p>
齊藤委員	<p>砂沼マラソンについてお聞きします。親子マラソンをメインにする方向に舵を切ったというのは、どういう経緯になりますか。</p>
生涯学習課補佐	<p>この2年間、開催出来なかったことがありまして、今後この事業をどうしていくかということ、協議してきました。下妻の場合、砂沼を会場にしているところで、キャパを考えると、大きくするのは難しいと。本格的なフルマラソンをやりたいですとか、10キロでハーフマラソンをやりたいという方は、近隣の市町村で実施しているところに参加してたりします。つくばでもやっていますし、坂東でも、筑西も結城も桜川も全部あるんですね。本格的にやりたい方は、そちらでやっていただいて、本市では、むしろ他がやってない大会をとということで、子供達に楽しんでもらう大会にしたかどうかという意見が出ました。5月に栃木市でやっていた大会も見学してきました。今までも、十分、子供向けのマラソン大会として運営をやっていたので、その話をさせていただいたところ、委員さんも、本格的にやりたい方は、他の自治体のところに参加してもらって、私達は、子供達に楽しんでもらう大会にしましょうという方向で、そちらに舵をきろうという意見になり、親子マラソンというところに特化した大会に変更した経緯があります。</p>



齊藤委員	ありがとうございました。わかりました。
教育長	それでは、よろしいですか。 その他として、事務局からありますか。
学校教育課長	<b>【事務局から報告】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員の学校訪問について</li> <li>・次回の定例会について</li> </ul>
教育長	その他よろしいですか。 それでは、以上をもちまして、定例の教育委員会を終わりにします。ありがとうございました。